

私たちの町の文化財

速報！上代遺跡

■第7話 上代昔ばなし！

今回は川から出てきたものについてご紹介したいと思います。川の中からは木以外にも、様々なものがでていますが、その中でも目を引くのがモモの種です。何故かというとな数え切れないほど出ているからです！川とモモ…そう聞くと昔話を思い出しますね！そう、「桃太郎」です！桃から生まれた桃太郎が鬼退治をする物語で有名ですね。現在は退治した鬼達から宝物を獲っていくだけでは教育に良くないと、持ち主達に宝物を返すというストーリーが加えられているそうです。

では、桃太郎はなぜ桃から生まれたのでしょうか？それは桃が魔除けとして古代から用いられてきたことが理由だと考えられています。当時、桃は食用というよりは魔除けの道具として価値があったようで、ひな祭りに桃の花を飾るのも同じ理由といわれています。桃が原産地である中国から日本に入ってきて定着するのは、弥生時代からといわれています。他地域の遺跡でも穴の中から桃の種がたくさんでてくるという事例が多くあり、意図的に埋められていることから、厄除けの為にいったお祭りの跡ではとも言われています。上代遺跡の人達も、桃を魔除けとして用いて日々の平穏を祈っていたのかもしれませんがね。

(熊本市文化振興課 芥川太朗氏)

弥生時代の桃の種！
二千年くらい前のが残
っているとは驚きだモン
桃は食料というより
魔除けの道具
だったのか

